



学校だよりNO41

令和4年 2月18日

児童数 473人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

タブレットを活用した学習に取り組んでいます

1人1台のタブレットが配置され、授業の中で活用する場面が増えてきました。ウェブサイトから様々な情報を引き出したり、カメラ機能を使って、写真や動画を撮影したり…。今どきの子どもたちは、スマホやゲーム機などで慣れているため、その操作も比較的スムーズに行うことができます。中には、先生方にその操作法を説明できる児童がいるほどです。

先日、写真にあるように、6年生の顔写真を見ながらその似顔絵をかいている1年生の様子を確認することができました。お世話になった6年生へ、1年生の感謝の気持ちが表れるように一生懸命に絵をかいていました。その様子を見てみると、この1年間の成長を感じました。



また、ある日5年教室を訪問してみると、「冬の装い」の家庭科の学習をしていました。「冬キャンプ」「冬のはつもうで」「冬の遊園地」などの場面設定をし、その時の服装を各自が考えるという学習でした。

参考となる資料をインターネットで検索し、好みの装いを作成する5年生。とっっても、主体的な学習活動であるなど思いながら、写真を撮っていました。

このように、授業の中でタブレットを活用する場面は増えています。

再びのご協力をよろしくお願いたします。

2月20日までの福島県における「まん延防止等重点措置区域」の適用が、延長される見通しである報道がされています。なかなか減らない感染者数に、学校としても窮屈な教育活動を強いられています。学年まとめのこの時期に、しておかなければならないことは責任をもって実行していきたいと考えております。3月23日の卒業式を控え、健康管理には最大限の注意をしていきたいと考えております。

そのために、今まで通り「毎日の検温」「マスクの正しい着用」「本人や家族の方に発熱等がある場合の登校を控えること」等、感染防止対策を各ご家庭で実施していただくことが大事になってまいります。感染者数が高止まりしていて、まだまだ、安心できる状況になっておりません。感染防止に対するご協力を、引き続きお願いいたします。